

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	看護学概論	1単位30時間	1年前期	吉田 かおる

授業のねらい

看護とは何かを学習するための導入として何を目的に看護は行われるのか、看護は誰に対して行われるのか、看護はどのような機能を果たすのか、それら基本的なことについて歴史や概念を学ぶ。

また、専門職業人としての倫理的態度を学び、看護に必要な基本的姿勢を理解する。

授業計画

第1回		看護を学ぶにあたって
第2回		看護とは 看護の変遷 看護の定義 看護理論とは
第3回	1時間	看護理論 ① 看護理論家に見る看護の定義 ①
第4回		看護理論 ② 看護理論家に見る看護の定義 ②
第5回		看護理論 ③ ナイチンゲールの看護覚え書
第6回		看護理論 ④ V.ヘンダーソン 看護の基本となるもの
第7回		看護の役割と機能
第8回		看護の対象としての人間 ①
第9回		看護の対象としての人間 ②
第10回		看護の対象としての人間 ③
第11回		看護の対象としての人間 ④
第12回		看護とはなにか ③
第13回		看護における倫理 ①
第14回		看護における倫理 ②
第15回		看護における倫理 ③
第16回	1時間	筆記試験

授業方法 講義

教科書 系統看護学講座 専門 看護学概論 : 医学書院
 ナイチンゲール 看護覚え書き : 現代社
 看護の基本となるもの : 日本看護協会出版会
 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 : ヌーヴェルヒロカワ
 実践に生かす看護理論19 : サイオ出版

評価方法 筆記試験 レポート

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論 I	1単位30時間	1年前期	麻生 雅美・政岡 宮子 深川市立病院 認定看護師

授業のねらい

看護援助の基本となる技術の概念を学び、看護を提供するうえでの安全安楽の重要性を理解し、その援助技術を学ぶ。また、看護におけるコミュニケーションの意義を理解し、人間関係を成立・発展させるための知識・技術・態度を習得する

授業計画

第1回		看護技術とは、看護技術の概念		麻生
第2回		看護技術における安全安楽		麻生
第3回		感染防止の基礎知識、医療施設における感染管理		看護師
第4回		標準予防策とは、ガウンテクニック	演習	看護師
第5回		感染経路別予防策		麻生
第6回		洗浄・消毒・滅菌、無菌操作	演習	麻生
第7回		感染性廃棄物の取り扱い、針刺し防止策		麻生
第8回	1時間	感染防止の技術のまとめ		麻生
第9回		コミュニケーションの意義と目的		政岡
第10回		コミュニケーションの基本、構成要素		政岡
第11回		関係構築のためのコミュニケーション		政岡
第12回		効果的なコミュニケーションの実際		政岡
第13回		効果的なコミュニケーションの実際		政岡
第14回		コミュニケーション障害への対応		政岡
第15回		事例を用いた医療コミュニケーションの実際	演習	政岡
第16回	1時間	試験		政岡

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I : 医学書院

根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

参考書 仲間とみがく看護のコミュニケーション・センス : 医歯薬出版

知識と実践がつながる看護学生のためのコミュニケーション Lesson : メジカルフレンド社

評価方法 筆記試験

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論Ⅱ	1単位30時間	1年後期	吉田 かおる

授業のねらい

看護における観察の意味や意義を理解し、対象のヘルスアセスメントに必要なバイタルサインの観察やフィジカルアセスメントの基礎的な知識・技術を学ぶ
また観察されたことを記録、報告することの必要性とその方法を理解する。シミュレーション演習を通して、実践に向けた技術を習得する。

授業計画

第1回	ヘルスアセスメントとは	
第2回	バイタルサインの観察①体温	
第3回	バイタルサインの観察②脈拍・呼吸	
第4回	バイタルサインの観察③ 血圧	
第5回	バイタルサインの観察④ 血圧	
第6回	バイタルサインの観察⑤ 意識、 身体計測	
第7回	呼吸器系のフィジカルアセスメント	
第8回	循環器系のフィジカルアセスメント	
第9回	乳房・腹部のフィジカルアセスメント	
第10回	筋骨格系・神経系のフィジカルアセスメント	
第11回	頭頸部・感覚器のフィジカルアセスメント	
第12回	観察・記録・報告	
第13回	バイタルサインの測定	演習
第14回	演習のまとめ	
第15回	1時間 技術試験	
第16回	1時間 筆記試験	

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ : 医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

評価方法 筆記試験 (技術試験の合格を前提とする)

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論Ⅲ	1単位30時間	1年前期	政岡 宮子 ・ 坂東 香愛

授業のねらい

環境、活動、休息のニーズを理解し、ボディメカニクス技術を使用して、充足できていない対象者への安全・安楽な援助を習得する。
療養環境の対象へ影響を知り、快適な環境を整える方法を学ぶ。また、ボディメカニクスの技術を用いて、対象も自分も安全で安楽な動作を身に着ける
活動休息のバランスの重要性を理解し、休息が促進されるための方法を学ぶ。

授業計画

第1回		環境調整の意義 療養環境の整備	政岡
第2回		ベッドメイキングの方法と実際	政岡
第3回		ベッドメイキングの方法と実際	政岡
第4回		活動の意義 ボディメカニクス	政岡
第5回		体位変換とポジショニング	政岡
第6回		体位変換とポジショニング	政岡
第7回		臥床患者のベッドメイキング	政岡
第8回		臥床患者のベッドメイキング	政岡
第9回		移動・移送の技術(車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー)	政岡
第10回		移動・移送の技術(車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー)	政岡
第11回		移動・移送の技術(車椅子、杖、歩行器、ストレッチャー)	政岡
第12回	1時間	ベッドメイキングの技術試験	政岡
第13回		睡眠と休息の援助と罨法	坂東
第14回		睡眠と休息の援助と罨法	坂東
第15回		ベッド周囲の環境整備と安全確保	政岡
第16回		ベッド周囲の環境整備と安全確保	政岡
第17回	1時間	筆記試験	政岡

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

評価方法 筆記試験、技術試験

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論Ⅳ	1単位30時間	1年前期	刺田 由貴

授業のねらい

衣生活、清潔のニーズを理解し、対象への配慮やプライバシーの保護に努め、基本的欲求が満たされるよう対象者への援助技術を習得する。

授業計画

第1回		清潔の意義	
第2回		皮膚・粘膜の構造と機能 清潔の方法	
第3回		衣生活の意義、病衣の条件・選択	
第4回		病衣・寝衣交換の実際	演習
第5回	1時間	手浴・足浴の意義、手順と根拠	
第6回		臥床患者への足浴の援助	演習
第7回		全身清拭の方法を考える	
第8回		全身清拭の実際	演習
第9回		全身清拭の実際	演習
第10回		頭皮・頭髪の清潔の意義、手順と根拠	
第11回		臥床患者への洗髪の実際	演習
第12回		臥床患者への洗髪の実際	演習
第13回		陰部清拭の意義、陰部洗浄の手順と根拠	演習
第14回		口腔ケアの意義、手順と根拠、口腔ケアの実際	演習
第15回		技術試験	
第16回	1時間	筆記試験	

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

評価方法 筆記試験 (技術試験の合格を前提とする)

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論V	1単位30時間	1年	坂東 香愛 ・ 笹井 千景

授業のねらい

- 1.栄養状態や摂取能力のアセスメント方法を学ぶ。
- 2.摂食・嚥下訓練の概要を学ぶ
- 3.非経口的栄養摂取の援助方法を学ぶ
- 4.排泄の意義とメカニズム、アセスメント方法を学ぶ
- 5.自然排尿・排便の援助を学ぶ
- 6.排泄障害への援助を学ぶ

授業計画

第1回	食事援助の基礎知識		笹井
第2回	食事摂取の介助		笹井
第3回	摂食・嚥下訓練		笹井
第4回	食事介助		演習 笹井
第5回	非経口的栄養摂取の援助		笹井
第6回	経管栄養		演習 笹井
第7回	経管栄養		演習 笹井
第8回	排泄の意義、排尿・排便のアセスメント		坂東
第9回	排泄行動に障害のある人の看護① トイレにおける排泄介助		坂東
第10回	排泄行動に障害のある人の看護② 尿器・便器での排泄介助 おむつ交換		坂東
第11回	排尿障害のある患者の援助	導尿、膀胱留置カテーテル	坂東
第12回	排便障がいのある患者の援助	便秘改善へのケア、浣腸、摘便	坂東
第13回	浣腸の実際		演習 坂東
第14回	浣腸の実際		演習 坂東
第15回	1時間 演習のまとめ		坂東
第16回	1時間 筆記試験		笹井

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

評価方法 筆記試験

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	援助技術論VI	1単位30時間	1年後期	佐藤 麻美

授業のねらい

対象の健康問題に対する生活上の問題を判断し、解決するための基本的な能力育成のために理論的知識を用いて、問題解決的な思考を専門技術として活用する方法を習得する

授業計画

第1回	看護過程とは	
第2回	看護過程の各段階①	情報収集・アセスメント
第3回	看護過程の各段階②	関連図 看護問題の明確化
第4回		看護計画 実施・評価
第5回	紙上事例の展開	情報収集
第6回		一般状態(呼吸・循環・体温)
第7回		飲食・排せつ・清潔
第8回		更衣・姿勢活動・睡眠休息
第9回		環境・心理・社会・経済
第10回		学習・自己観
第11回		問題の明確化・問題リスト(優先度)
第12回		患者の全体像をつかむ・関連図
第13回		計画
第14回		実施 評価
第15回		看護要約(サマリー) まとめ

授業方法 講義・グループワーク

教科書 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 : ヌーヴェルヒロカワ
 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 I : 医学書院

評価方法 課題やグループワークへの取り組みを総合的に評価する

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	基礎看護技術演習	1単位30時間	1年後期	吉田 かおる

授業のねらい

対象の看護の必要性を導き、学んだ技術を応用しながら対象の特殊性や個別性に合わせた援助を考え実施できる能力を養う。原理・原則に基づいて、安全・安楽に実施することができる基礎的な看護技術を習得する。

授業計画

第1回	1時間	オリエンテーション、技術の学び方
第2回		場面を想定した日常生活援助:援助を習得し、人に教えられるようになる①
第3回		場面を想定した日常生活援助:援助を習得し、人に教えられるようになる②
第4回	1時間	技術試験
第5回		チームメンバーに教える・教えてもらう①
第6回		チームメンバーに教える・教えてもらう②
第7回	1時間	技術試験
第8回		チームメンバーに教える・教えてもらう③
第9回		チームメンバーに教える・教えてもらう④
第10回	1時間	技術試験
第11回	1時間	技術試験
第12回	1時間	事例患者の援助 ①
第13回		事例患者の援助 ②
第14回		事例患者の援助 ③
第15回	4時間	事例患者の援助 ④
第16回		事例患者の援助 ⑤
第17回		事例患者の援助 ⑥

授業方法 グループワーク・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院

参考書 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図・疾患別看護ケア関連図 : 中央法規出版

評価方法 技術試験56/100 学習課題24/100 レポート20/100

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	診療援助技術論 I	1単位30時間	2年前期	吉田 かおる ・ 佐藤 麻美

授業のねらい

対象が安全・安楽に診療・検査、治療・処置が受けられるよう、基礎知識、援助技術を習得する侵襲の伴う治療であるためそこで起こりうる危険を予測しながら確実な準備、実施ができるための知識と技術を習得する。また、演習を通して対象への説明や配慮について考えられる

授業計画

第1回	皮膚・創傷を管理する技術	吉田
第2回	吸引・排痰ケア、酸素療法	吉田
第3回	持続的導尿	吉田
第4回	持続的導尿	吉田
第5回	持続的導尿	吉田
第6回	経口与薬 (1)与薬の基礎知識 (2)経口与薬の援助技術	佐藤
第7回	吸入・点眼・経皮的与薬の基礎知識・援助の実際	佐藤
第8回	直腸内与薬、塗布・摩擦法と援助の実際	佐藤
第9回	注射の基礎知識	佐藤
第10回	皮下注射・筋肉内注射の基礎知識	佐藤
第11回	皮下注射・筋肉内注射の実際	佐藤
第12回	静脈内注射・点滴静脈内注射の基礎知識	佐藤
第13回	静脈内注射・点滴静脈内注射の実際	佐藤
第14回	中心静脈カテーテルの管理	佐藤
第15回	1時間 輸血の看護	佐藤
第16回	1時間 筆記試験	佐藤

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院

根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院

評価方法 筆記試験

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	診療援助技術論Ⅱ	1単位30時間	2年前・後期	深川市立病院 臨床検査技師 深川市立病院 診療放射線技師 深川市立病院 臨床工学技士 久村 里佳

授業のねらい

対象が安全・安楽に診察・検査が受けられるよう、基礎知識、援助技術を習得する

授業計画

第1回		検体の採取について		臨床検査技師
第2回		生体検査について		臨床検査技師
第3回		ME機器の取り扱い		臨床工学技士
第4回		放射線防護と看護		診療放射線技師
第5回		診察・検査における看護者の役割と援助		久村
第6回		検査における基礎知識		久村
第7回		検査における基礎知識		久村
第8回		静脈血採血の基礎知識		久村
第9回		静脈血採血の演習オリエンテーション	演習	久村
第10回		静脈血採血演習	演習	久村
第11回		静脈血採血演習	演習	久村
第12回		静脈血採血演習	演習	久村
第13回	1時間	技術試験		久村
第14回		学生同士の採血に向けて	演習	久村
第15回		学生同士の採血	演習	久村
第16回	1時間	筆記試験		久村

教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ : 医学書院
 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 : 医学書院
 系統看護学講座 専門分野 臨床看護学総論 : 医学書院
 系統看護学講座 別巻 臨床検査 : 医学書院
 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 : 医学書院

評価方法

筆記試験（技術試験の合格を前提とする）

分野	科目名	単位/時間数	時期	担当教員
専門分野	臨床看護総論	1単位30時間	1年後期	麻生 雅美

授業のねらい

健康障害をもつ対象を理解し、状態に応じた看護について学ぶ。

1. 各経過の概念と治療の特徴、患者のニーズと看護の基本について理解する
2. 出現している症状に対する援助に必要な知識を理解する
3. シュミレーションを通して対象に必要な観察、援助を学ぶ

第1回 急性期・慢性期・回復期・終末期の経過をたどる患者の看護

第2回 発熱のメカニズムと看護

第3回 症状に対する観察と看護

第4回 呼吸困難・咳・痰のメカニズムと看護

第5回 浮腫のメカニズムと看護

第6回 腹痛・痛みのメカニズムと看護

第7回 黄疸のメカニズムと看護

第8回 心身に及ぼす影響

第9回 1時間 シュミレーション演習事前テスト、オリエンテーション

第10回 シュミレーション演習 循環器系疾患

第11回 シュミレーション演習 循環器系疾患

第12回 シュミレーション演習 VS測定と報告

第13回 シュミレーション演習 VS測定と報告

第14回 シュミレーション演習 呼吸器系疾患

第15回 シュミレーション演習 呼吸器系疾患

第16回 1時間 筆記試験

授業方法 講義・演習

教科書 系統看護学講座 専門分野 臨床看護学総論 : 医学書院

評価方法 講義・演習参加の姿勢・態度、小テスト、最終筆記試験で評価